豊かで 住みよい 町づくり

上勝

VoL. 69

議会だより

2018. 5. 1 発行

2P 定例会　補正予算
3P 新年度予算
4P 審議案件と議決結果（指定管理）
5P 主な質疑・討論
6P 審議案件と議決結果（条例・予算他）
7P 主な質疑・討論
8P 一般質問 7名が町政について質問
15P 視察研修報告
16P まちのようす

平成30年度 一般会計当初予算

総 額 **30億6,600万円** 6対1で可決

昨年度の一般会計当初予算より、4,290万円増額した。新しい事業、小中学校入学祝金140万円。目を引くものは、ごみステーション新築工事　3億7,020万円。彩山を活用した産業振興事業　3,010万8千円等がある。

当初予算の様子を家計に例えてみました

収 入

収入の種類	収入（円）	構成比(%)	平成30年度の歳入
年収	193,561	5.0	町税
預金取崩し	681,333	17.6	繰入金
雑収入（パート収入等）	193,561	5.0	使用料・手数料 分担金・負担金 財産収入・諸収入 寄附金
前の年の節約	19,356	0.5	繰越金
親からの援助	1,687,848	43.6	地方交付税
	286,470	7.4	国庫支出金
	398,735	10.3	県支出金
	58,068	1.5	地方譲与税
	23,227	0.6	地方消費税交付金
	7,742	0.2	その他の交付金
新しいローン	321,311	8.3	町債
計	3,871,212	100.0	

支 出

支出の種類	支出（円）	構成比(%)	平成30年度の歳出
ローンの返済	398,735	10.3	公債費
家の購入・改築 車の購入など	1,134,265	29.3	普通建設事業費 災害復旧費
衣食費	634,879	16.4	人件費
自治会費・交際費 同好会費など	309,697	8.0	補助費等
子どもへの仕送り	236,144	6.1	繰出金
電気・水道・消耗品など	723,917	18.7	物件費
教育費・医療費	305,826	7.9	扶助費
預金	54,197	1.4	積立金
家、車などの修繕費	58,068	1.5	維持補修費
生命・損害保険など	3,871	0.1	投資及び出資金・貸付金
急な支出に備えて準備	11,613	0.3	予備費
計	3,871,212	100.0	

年収の額は、町の30年度当初予算額を町の世帯数で割算したもの。

30年度当初予算額	30億6,660万円
世帯数	792世帯(H30.4.1)
年収の額	3,871,212円

平成30年度 特別会計予算

総 額 **7億9,340万1千円** 全員異議なく可決

- 国民健康保険(事業勘定) 2億円
- 介護保険 3億5,900万円
- 国民健康保険(診療施設勘定) 1億600万円
- 国民健康保険(福原診療施設勘定) 2,400万円
- 簡易水道事業 5,500万円
- 奨学資金 252万1千円
- 後期高齢者医療 4,500万円
- 高鉾財産区 98万円
- 福原財産区 90万円

補正予算

平成29年度 上勝町一般会計補正予算（第6号）

第2回定例会

5対2で可決

一般会計

補正額（減額） **3,221万7千円**

総　額 **33億1,171万5千円**

会期	開会	閉会
15日	平成30年3月8日	平成30年3月22日

増額の主なもの

- 地籍調査業務委託料 8,065万9千円
- 道路新設改良 工事請負費 町道福川福原線 729万6千円

減額の主なもの

- 道路新設改良 工事請負費（交付金） 6,700万円
- 町雇用推進事業補助金 1,180万円
- 森林基盤整備事業 工事請負費（国補） 1,952万円
- 都市農村交流センター等 大規模修繕事業基金 1,179万9千円

平成29年度 上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算（補正第3号）

補正額（追加） **1,591万6千円**　総 額 **3億1,718万5千円**

- 上診・福診特別会計繰出金 1,591万6千円

平成29年度 上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計補正予算（補正第3号）

補正額（追加） **587万4千円**　総 額 **1億3,867万9千円**

- 予備費 587万4千円

平成29年度 上勝町国民健康保険(福原診療施設勘定)特別会計補正予算（補正第2号）

補正額（追加） **14万2千円**　総 額 **2,471万7千円**

- 予備費 14万2千円

平成29年度 上勝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（補正第2号）

補正額（追加） **87万6千円**　総 額 **4,613万1千円**

- 保険料等負担金 80万円
- 過誤納還付金 7万6千円

平成30年 第２回上勝町議会定例会　審議案件と議決結果

（第１日）平成30年３月８日㈭　○：賛成　×：反対　－：議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質疑	討論	結果	岡本明	星場眞人	松下和照	渡部厚子	鹿島國男	片山文昭	明本惠一	岩本文昭
議案第２号	上勝町公の施設（自然教育センターあさひ）の指定管理者の指定について	有	有	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	－
議案第３号	上勝町公の施設（彩保育園）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第４号	上勝町公の施設（上勝町デイサービスセンター）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第５号	上勝町公の施設（上勝町在宅介護支援センター）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第６号	上勝町公の施設（上勝町コインランドリー施設）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第７号	上勝町公の施設（上勝町介護予防活動センター）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第８号	上勝町公の施設（日浦地区簡易給水施設）の指定管理者の指定について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第９号	上勝町公の施設（樫原地区簡易給水施設）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第10号	上勝町公の施設（府殿地区簡易給水施設）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第11号	上勝町公の施設（中瀬津地区簡易給水施設）の指定管理者の指定について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第12号	上勝町公の施設（谷口地区簡易給水施設）の指定管理者の指定について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第13号	上勝町公の施設（上勝町農林産業施設）の指定管理者の指定について	有	有	〃	○	○	○	×	○	○	×	－
議案第14号	上勝町公の施設（上勝町月ヶ谷温泉交流施設）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第15号	上勝町公の施設（婦人・若者等活動促進施設）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第16号	上勝町公の施設（上勝町農産物加工施設）の指定管理者の指定について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第17号	上勝町公の施設（上勝町滞在型農林業体験実習拠点施設等）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第18号	上勝町公の施設（上勝町滞在型農林業体験実習付帯施設）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第19号	上勝町公の施設（上勝町特用林産物栽培施設等）の指定管理者の指定について	有	有	〃	○	○	○	×	○	○	×	－
議案第20号	上勝町公の施設（上勝町木材製品出荷調整施設）の指定管理者の指定について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第21号	上勝町公の施設（上勝町藤川宿泊施設）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第22号	上勝町公の施設（上勝町福原宿泊体験施設）の指定管理者の指定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－

人権擁護委員の任命に同意しました

桂　洋志氏

●任期　平成30年7月1日より平成33年6月30日まで

主な質疑・討論

議案第２号　上勝町公の施設（自然教育センターあさひ）の指定管理者の指定について

問　明本議員
指定管理者の住所、経歴は。

答　横山教育委員会事務局長
本件には個人の住所等は必要でない。

問　渡部議員
管理の中に、バーベキュー施設・トイレの管理も含まれているのか。

答　横山教育委員会事務局長
指定管理の中に入っている。

問　星場議員
管理の失敗等を想定し、保証金を取っているか。

答　横山教育委員会事務局長
指定管理の中に保証金制度はない。町内の方の役員等に名前があるので心配はしていない。

討論

反対　明本議員
説明不足だ。わからない。

賛成　渡部議員
団体の個人の事についてまで管理する必要はない。

賛成　鹿島議員
代表に選ばれている方は上勝に来て長い。上勝町の為に尽くしてくれ、今もボランティアタクシーをされており、十分信用できる方だ。

議案第４号　上勝町公の施設（上勝町デイサービスセンター）の指定管理者の指定について

問　明本議員
施設の電気代・水道代等あるが費用の分担は。

答　峯下住民課長
全て健祥会の負担。

議案第５号　上勝町公の施設（上勝町在宅介護支援センター）の指定管理者の指定について

問　明本議員
センターの施設要員は何人か。

答　峯下住民課長
在宅介護支援センターの管理人数は12人。

議案第６号　上勝町公の施設（上勝町コインランドリー施設）の指定管理者の指定について

問　鹿島議員
運営など使用料、管理料は決まっているのか。

答　花本町長
今年度は、社会福祉協議会に、来年度以後については決定していない。変更の可能性はあると思っている。

問　星場議員
水の濁り、水が来ないなど、社協は困っていた。町水道をつなぐ事はできないか。

答　花本町長
この施設は水を流したままにできる。完全なろ過はできないので台風の時は休止の時も出てくる。あと1年で新たな施設で新しい設備になる。

問　明本議員
施設が1年で変わるのであれば指定の期間を、1年間と変えてはどうか。

答　花本町長
新しい施設については計画をしているが、確定ではない。3年間の契約をし、その時点で検討したい。

議案第７号　上勝町公の施設（上勝町介護予防活動センター）の指定管理者の指定について

問　渡部議員
上勝町介護予防活動センターの、指定管理委託料が安過ぎるのではないか、要望はないのか。

答　峯下住民課長
担当してからは聞いていない。

議案第９号　上勝町公の施設（樫原地区簡易給水施設）の指定管理者の指定について

問　星場議員
樫原地区簡易給水施設の利用戸数は。

答　中原建設課長
使用戸数は7戸。

議案第13号　上勝町公の施設（上勝町農林産業施設）の指定管理者の指定について

問　明本議員
上勝バイオは、報告ができていない。実態はないのではないか。

答　吉積産業課長
通常法的な部分に関しては、きっちり報告をしている。実態はある。

討論

反対　明本議員
上勝バイオは実態がない、社員もいない。報告書を出す会計担当もいない。終わっている。

賛成　松下議員
上勝バイオは、再建途上にあり、少数精鋭で立ち上がっている。良いシイタケも生えている。温かい目で見ては。

賛成　星場議員
2年前、産建委員が栽培技術の視察を行った会社の社長が今、自分の給料も返上してまで上勝バイオの再建に取り組んでいる。町内の職場確保の意味でも、支援したい。

答　吉積産業課長
毎年修繕工事はしており、協定書に基づいて大きな修繕工事については協議して行きたい。値引きは考えていない。

議案第18号　上勝町公の施設（上勝町滞在型農林業体験実習付帯施設）の指定管理者の指定について

問　星場議員
いっきゅう茶屋の施設は、1階と2階と大きく利用の形態が違う。別々に指定管理できないか。

答　吉積産業課長
条例上も1つの施設、一体的にする事により効果が表れる。

問　渡部議員
1階と2階は分けるべき。上と下は全く関係のない活動をしている。効果は見えない。

答　吉積産業課長
いっきゅう茶屋運営協議会に管理委託をお願いしている。話し合いの中でも、そのような声は上がっていない。

問　渡部議員
意見が出たら考えるのか。

答　吉積産業課長
指定管理決定後、協議会にヒアリング等々を行い相談していきたい。

問　星場議員
山の水を取っているが、食品衛生関係の許可は出ているか。

答　吉積産業課長
運営協議会の中で、それぞれが、検査を受け適法にやっていると理解している。

議案第19号　上勝町公の施設（上勝町特用林産物栽培施設等）の指定管理者の指定について

問　明本議員
施設が立っている借地の年限は。

答　吉積産業課長
契約は平成27年から5年間だ。

討論

反対　明本議員
実態のない事業をやっている。委託するのは無責任であり、何のメリットもない。

賛成　片山議員
工場とハウス2つを一緒に指定管理する事で、相乗効果によってよい結果が出ている。

賛成　鹿島議員
現在は10人近く雇用し、町や個人にも収入があるので十分良いと思う。

議案第14号　上勝町公の施設（上勝町月ヶ谷温泉交流施設）の指定管理者の指定について

問　星場議員
月ヶ谷温泉施設は、老朽化している。現在、修繕の必要は見えないが、上勝バイオ・月ヶ谷温泉ともに、施設が不十分であれば管理料をもらうより補助金を出すか、割引きなど考えていないのか。

答　傍示企画環境課長
長期になっている方もいるが、単身棟等が空けば勧めている。地域産業の担い手として宿泊をしている。今後より一層努力し、力を出して行きたい。

議案第21号　上勝町公の施設（上勝町藤川宿泊施設）の指定管理者の指定について

問　星場議員
藤川宿泊施設は、町営住宅の代わりとして使用しているのではないか。空き家はたくさんあり、改修し住宅を作るのが大事。研修者を受け入れる施設であれば、特化させる必要がある。

答　傍示企画環境課長
長期になっている方もいるが、単身棟等が空けば勧めている。地域産業の担い手として宿泊をしている。今後より一層努力し、力を出して行きたい。

平成30年 第２回上勝町議会定例会 審議案件と議決結果

（第３日）平成30年３月22日(木)　○：賛成　×：反対　－：議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質疑	討論	結果	岡本明	星場眞人	松下和照	渡部厚子	鹿島國男	片山文昭	明本惠一	岩本文昭
議案第23号	上勝町立学校入学祝い金支給条例の制定について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第24号	上勝町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第25号	上勝町介護保険条例の一部を改正する条例について	有	有	〃	○	○	○	○	○	○	×	－
議案第26号	上勝町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第27号	上勝町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第28号	上勝町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第29号	上勝町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第30号	上勝町出生児祝福金贈与条例の一部を改正する条例について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第31号	上勝町乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第32号	上勝町文化振興基金条例の一部を改正する条例について	有	有	〃	○	○	○	×	○	○	×	－
議案第33号	上勝町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第34号	平成29年度上勝町一般会計補正予算（補正第６号）について	有	有	〃	○	○	○	×	○	○	×	－
議案第35号	平成29年度上勝町国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（補正第３号）について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第36号	平成29年度上勝町国民健康保険（診療施設勘定）特別会計補正予算（補正第３号）について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第37号	平成29年度上勝町国民健康保険（福原診療施設勘定）特別会計補正予算（補正第２号）について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第38号	平成29年度上勝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（補正第２号）について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第39号	平成30年度上勝町一般会計予算について	有	有	〃	○	○	○	○	○	○	×	－
議案第40号	平成30年度上勝町国民健康保険（事業勘定）特別会計予算について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第41号	平成30年度上勝町介護保険特別会計予算について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第42号	平成30年度上勝町国民健康保険（診療施設勘定）特別会計予算について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第43号	平成30年度上勝町国民健康保険（福原診療施設勘定）特別会計予算について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第44号	平成30年度上勝町簡易水道事業特別会計予算について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第45号	平成30年度上勝町奨学資金特別会計予算について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第46号	平成30年度上勝町後期高齢者医療特別会計予算について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第47号	平成30年度上勝町高鉾財産区特別会計予算について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第48号	平成30年度上勝町福原財産区特別会計予算について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第49号	上勝町過疎地域自立促進計画の変更について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第50号	工事変更請負契約の締結について	有	有	〃	○	○	○	×	○	○	×	－
諮問第51号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	無	無	原案推薦可	○	○	○	○	○	○	○	－
委員会の閉会中の継続調査について		－	－	承認	○	○	○	○	○	○	○	－
寄附の申し立てについて		－	－	報告								

主な質疑・討論

議案第23号　上勝町立学校入学祝い金支給条例の制定について

問　明本議員
30年度に限り2年生は5万円、3年生には4万円と附則をつけれないか。

答　横山教育委員会事務局長
30年度から開始とし、区切りをつけたい。暖和措置は、考えていない。

問　渡部議員
入学祝い金支給の前にごみステーションに多く出ている学用品を減らす努力、物を大切にする教育の三原則は守られているか。

答　立川教育長
物に対する指導は学校の方でもしている。

問　渡部議員
指導が足りない。家庭にも問題がある。支給しても、町の財政には余裕があり、響かないと考えてよいのか。

答　花本町長
支給した分は、財政に響きます。

問　星場議員
祝い金もよいが、持ち運びするランドセル、教材、その他、重く子供の負担になっている。暖和する事はできないか。

答　立川教育長
町内には、スクールバスがあり、運ぶ距離は少ない。調査していく。

議案第25号　上勝町介護保険条例の一部を改正する条例について

問　明本議員
保健料は、平均幾ら上がるのか。

答　峯下住民課長
1ヶ月当たり、200円上がる。

討論

反対　明本議員
低所得者は大変である。今年度は、見送るべき。

賛成　渡部議員
心苦しいが、費用は増えている。ご負担をお願いしたい。

議案第30号　上勝町出生児祝福金贈与条例の一部を改正する条例について

問　渡部議員
子供を産んだら金を出す、女性に対する侮辱に感じる。ますます財政には厳しくなるが、どこから捻出するのか。

答　花本町長
一般財源の中から出す。

問　岡本議員
仮に、移住者が増えた場合、住宅などの対策はできているのか。

答　花本町長
転入者が増えた場合、後手になるか分からないが、対策はしていく。

議案第32号　上勝町文化振興基金条例の一部を改正する条例について

問　渡部議員
現在基金は幾ら貯まっていて、条例改正後今年度、来年度は幾ら入れるのか。

答　横山教育委員会事務局長
現在積立額28年度末で8,750万円、29年度300万円、30年度100万円の積立予定。

問　渡部議員
基金本来の目的として民俗資料館をつくってほしい。積立金を減すのは時代に逆行している。

答　横山教育委員会事務局長
今施設を建設する計画はないが前向きに検討する。

問　明本議員
積立額が減るのは文化面に対する考え方が貧弱だ、一貫性がない。

答　横山教育委員会事務局長
基金自体が減って行く訳ではなく必要に応じて柔軟な対応が出来る。

討論

反対　渡部議員
必要に応じて増額するとの事だが早速に計画が必要だ。

賛成　星場議員
具体的必要額を計上して無理をせず取り組む事を要望。

議案第34号　平成29年度上勝町一般会計補正予算（補正第6号）について

問　明本議員
繰越明細費の中でごみステーション設備事業について説明を。

答　花本町長
構造材を既に発注、半割まで完了。穴あけ工事と町有で買収した山の木の伐採工事も含まれる。

問　渡部議員
教育費でアララギ塾講師が12万円減っている理由は。

答　立川教育長
学習会の日数計算をして昨年にくらべ行事等計画的に実施した為。

問　星場議員
土木管理費で減額が多い理由は。

答　中原建設課長
広報等で募集したが応募がなかった。

討論

反対　明本議員
3セクターの使用料の減額は自立を妨げる。
ごみステーションもベンチャー化して投機的な事業化をしている。

賛成　討論なし

反対　渡部議員
第3セクターの使用料は少しでも払える額を設定、努力を求める。

賛成　渡部議員
建物も文化施設だ。できあがったら、たくさんの人が訪れる。賛成だ。

賛成　星場議員
職員の給与も含めた予算だ。反対では物事が通らない。検討すべきは多々あるが理事者も一緒に勉強しながら進めることで賛成する。

賛成　片山議員
否決すれば行政がストップする。町が誇れる施設になるのでうれしく思っている賛成する。

議案第39号　上勝町一般会計予算について

問　松下議員
住宅用地の購入は何平方メートルで着工はいつか。

答　中原建設課長
3500平方メートルで単価2千円だ。着工は用地交渉もあり新年度の早い時期と考えている。

問　明本議員
月ヶ谷温泉のオイルボイラー取替費700万円を計上しているが出力が大きく、CO2削減に反する。

答　吉積産業課長
出力は500KWでバックアップするものだ。

問　渡部議員
上勝学舎支援補助金300万円は。

答　傍示企画環境課長
町補助金300万円。大学側で130万円で2名をボートランド派遣を予定している。

討論

反対　明本議員
ゴミセンター新設事業費4億5千万円と高騰し、ゴミゼロ運動はスポイルされた。
月ヶ谷温泉オイルボイラー取替はCO2が増加するので反対だ。

議案第50号　工事変更請負契約の締結について

問　明本議員
600万円の補正というが、出来高払いのようになっている。請け負い工事とはいえない。

答　傍示企画環境課長
現場によっては地形などによって変わってくる。メーカーから変更してきたところもある。

問　鹿島議員
工事で変更部分はあるのか。

答　傍示企画環境課長
その様なところもある。

問　渡部議員
専門家だ、風が吹くから変更とは、遅すぎる。

答　花本町長
遅くはない、常に安全を考えていくべきだ。

討論

反対　明本議員
請け負い工事でありながら、出来高払いのようになっている。契約があってなきがごとしだ。

賛成　岡本議員
安全を考慮している。道がスロープになったのは喜ばしい。

新年度の住民支援策を具体的に示せ　星場

目新しい施策を駆使し、活性化を図る　町長

星場眞人 議員

問 各課長は、何を新年度予算の目玉としたか。

答 細束総務課長 消防水槽の増設とヘリポート改良、防災マップ作成が目玉です。

答 吉積産業課長 農林業担い手育成に加え、彩山の整備と温泉施設の改修工事が目玉だ。

答 傍示企画環境課長 地方創生事業の推進関連予算だ。

答 中原建設課長 槻地簡水と林道八重地～市宇～樫原線の新設だ。

答 横山教育委員会事務局長 アララギ塾の充実と小・中学校の空調設備の設計、入学祝い金制度だ。

問 空調は30年度に設置と聞いていたが、時間がかかり過ぎでないか。

答 花本町長 補助枠の確保が遅れて30年度は他町、本町は31年度になる。追加補正があれば対応したい。

答 峯下住民課長 出産祝金の増額と子供の予防接種負担を高齢者と同額まで軽減する。

問 人口確保には子供が必要だ。例えば出産祝金の「第1子10万円～第3子以降は30万円」を10万円づつ漸増方式にすれば10人目は100万円となりインパクトが違う。再検討されたい。

答 花本町長 多くの出生を期待するが今後の課題としたい。

問 保育園、小・中学校の給食費を無料化する市町が増えているが、本町も無料化できないか。

答 花本町長 3歳児以上は一部負担で1000円を頂戴し、小・中学校は材料費のみの負担を頂いている。現在、給食費の無料化は考えていない。

広域農道を進めよ

問 東部広域農道の進捗が遅れている。補助金が大幅に増えても町負担は確保できるか。

答 花本町長 県から事業枠拡大という情報は来ていないが、話があれば積極的に対応したい。

公衆便所の洋式化を

問 外国人や足腰の弱い高齢者等のため、公衆便所の洋式トイレ化に取り組まれたい。又、傍示の公衆トイレも町管理に移管されたい。

答 吉積産業課長 本町の公衆トイレは県設置が4ヶ所と町設置が8ヶ所ある。洋式トイレ化は利用状況を見ながら検討したい。

答 花本町長 傍示のトイレは送電線関連施設を傍示名が管理する有効な施設だが、町も公衆トイレの管理に苦労しており、町管理にするとの即答は難しい。

問 高齢者等の運転免許証が返納させられている。交通弱者の足を確保せよ。

答 花本町長 昼間に稼働できるボランティア輸送は5～6人が延べ700人近く、一人100人位に対応しており、NPO法人も手配に苦労されている。セニアカーでも急坂の道が危険なら打つ手がない。

工事進捗が少ない広域農道

上勝町に国道を16号二車線化を優先　明本

町長

明本惠一 議員

問 上勝町に国道を開通し、高校生が徳島市内の高校に通えるようにすべき。

答 花本町長 最近、国は25年間国道昇格してない。実現性がない。

高校生の通学と道の駅

問 大川原高原（六郎山）にトンネルを抜き佐那河内村で国道438号につなぐと、20分で南環状線まで行ける。期成同盟会をつくれ。

答 花本町長 生活道路である県道16号線の二車線化改良を優先する。

問 それは正木ダム建設以来課題で、後ろ向きだ。第二期工事として、鶴林寺下をトンネルで抜き鷲敷の里で国道195号に接続し、上勝町に道の駅をつくればよい。

答 花本町長 夢がある事はよいが、今はその考えはない。

高齢者の医療と福祉

問 情報通信技術を使った在宅診療を国が制度化している。上勝でもどうか。

答 峯下住民課長 町でも訪問診療、訪問リハビリなどしている。

問 情報通信網を使って院困難な人を医師が診療と言うことだ。僻地で通所から診察できる。

答 峯下住民課長 まだ、検討していない。

高齢者の福祉は

問 お年寄りが役場に呼ばれて来るとき等はボランティアタクシー、町営バスの無料化を実施せよ。

答 花本町長 回り道したりする人がでる。特化した無料化は出来ない。

上勝バイオの実態は

問 現在10名の従業員の内訳は。

答 吉積産業課長 正社員3名（町外）臨時・パート7名（町内）である。

問 事務員が居ない。誰が購入、支払い、販売などをしているか。

答 吉積産業課長 社長の浜田氏と奥さんが櫛渕でしている。

問 給与計算、支払い、時間外労賃、福利厚生、勤怠などの労務管理、怪我などの救急は誰がするのか。

答 吉積産業課長 勤怠はタイムカードにより現場社員のうち一人がしている。

ゴミセンター改築について

問 今の地盤は「つばくろの巣」の様に張り出している。地震でダムへ流れ出しまうおそれ。杭打ちするのか。

答 傍示企画環境課長 国交省の安全指針による安定値は1・1～1・2に対し1・22と安全である。杭打ちはしない。

問 請負付託も不調だった。営業形態も組織も指定管理も未定だ。WHYパンフレットがだされ、町外団体だけが先走っている。奇抜な設計が破綻している。

答 傍示企画環境課長 委託事業の中で発行され、町外で企業誘致など宣伝に使っている。

現在の仮ゴミセンター　600㎡、5,000万円で出来る

農業次世代人材投資資金交付規則が実施され6年になるが実施状況は

事業開始から現在までに16名に交付した

片山　産業課長

片山文昭 議員

事業実施16名の活動状況は

問 事業実施から現在までに16名の方が交付を受けているようだが離農したり本町を離れた人はいるのか。

答 吉積産業課長 離農して本町を離れた方は、1名いる。

問 1名いるようだが、どのような理由で離農に至ったのか。

答 吉積産業課長 有機農業にこだわり収入も上がらなく、生活水準まで届かなかった。また、本人も体調がすぐれなかったことが大きな要因と思われる。

問 離農された方を含め、現在受給されている方々に対してどのような指導をしているのか。

答 吉積産業課長 農業支援センター、農協、いろどり、役場でサポート体制を取り、経営、技術及び資金面。農業委員会と行政から、農地情報等の提供とフォローアップを行っている。

電源立地地域対策事業の実施について

問 この事業はダム下流において環境が悪化したために環境の改善のための交付金事業と思う。

正木地区もダム下流域に入るので実施できるのか。

答 中原建設課長 ダム下流域であり事業実施は可能と思う。

未舗装の川口線

問 正木地域でまだ舗装が出来ていない町道、下寺内地域の川口線について舗装工事は実施できないか。

答 中原建設課長 国土調査は完了しているが、一部所有権移転等の問題が解決できれば状況を見て検討する。

電源立地地域対策交付金事業での実施は、利用状況等いろいろな審査が厳しいので難しいかと思う。

消防団員の活動状況は

問 先の山林火災においては、消防団員皆様方の活躍により被害を最小限に食い止めることが出来たこと、心より感謝する。

団員は現場へ駆けつけ消火に当たるが、どのような指揮監督のもと消火に当たっているのか。マニュアル等はあるのか。

答 細束総務課長 団員に配布するような消火のためのマニュアルはない。

消防学校で、消防団員の基礎訓練、幹部の教育訓練、専科教育訓練等を受けて頂いている。

問 若い団員が多くなっている、経験が少ない、現場になれていない等で危険を予知するのが非常に難しい、事故が起きる前に勉強会等をすべきでないか。

答 花本町長 火災発生後、分団には、課題はなかったか振り返り、対応策を検証して全分団に伝える。団長等からも改善点等は伝えています。研修は、マニュアルを配布しただけでは、難しいと思うので、身につくような研修を検討したい。

復元された白線（六十ブ線）

晩茶のブランド組織化の動きは

一般社団法人を立ち上げる予定

松下　産業課長

松下和照 議員

問 上勝晩茶は、最近非常に人気があり健康志向も高く文科省から民俗文化指定の答申ありブランド化の動きは。

答 吉積産業課長 組織化については、上勝晩茶祭りを実施した団体が中心となり一般社団法人を立ち上げる予定、早ければ5月をめどとし目的は伝統文化の継承で非営利団体の設立、地域団体商標登録が必要と伺っている。

問 晩茶の生産農家の把握はどのくらいか。

答 吉積産業課長 現在農家数の把握はしていない。教育委員会の事業になるが、重要無形民俗文化財の指定を受けるため町内晩茶農家とお話中だが約90戸ほどとの事で組織化に前向きと伺っている。

芽が伸び始めた晩茶

問 他地域との競合もあり晩茶ブランド化は急がれるが要件は何か。

答 吉積産業課長 阿波晩茶として商標登録は可能、昨年から一般社団法人化の申請が出来るようになり商工会と連携しながら町として応援していきたいと考えています。

問 他の換金樹木のようにお茶の苗木も助成して量産化への町の支援はできないか。

答 花本町長 晩茶はテレビでも取り上げられ品薄状態。地域商標を取得する団体の動きを見ながら30種以上あると思われるので色んな面から支援について今後考えていきたい。

問 商標登録に掛かる経費はどのくらいか。

答 吉積産業課長 出願料3400円プラス区分数8400円、これについては再度調べて答弁したい。

上勝町の人口減少に関して提案

問 上勝町の人口推計は、10年後にも1000人を割り込むのではないか。

答 傍示企画環境課長 平成27年9月策定上勝町地域創生人口ビジョンでは、2035年987人、2040年884人で1000人をキープする事を目標にしている。

具体的には、産業戦略事業、ゼロウェイストプランドを活用した循環型まちづくり事業、地域おこし協力隊の積極任用、専任集落支援員配置による移住相談等々、人口の流入促進流出抑制に努めてまいりたい。

問 大小55集落の中でゼロの集落も出てくる。特に介護・福祉にも支障が出てくる。新しいコミュニティーの提案として協同社会を村の中央につくり食事や会話、郵便の受発送、買物の注文等、日々の安否を確認出来る施設づくりが出来れば良いと思うが共感出来るか。

答 森 副町長 多くの課にまたがる事柄なので答えたい。

現在も一桁台の集落が4地区ある。世帯数に至っては20集落が一桁台になっている。行政サービスライフラインへの供給懸念はない。

新しいコミュニティーの提案については、世間話・毎日一回集落の中央集会所に集まって食事等々安否確認・病人の世話・買物など「安らぎの里」といった空間が生まれる訳で、急速に進む過疎化の中で建設的な提言なので、今後の検討課題とさせていただきたい。

ごみ処理にもう一工夫を　渡部

困っていれば相談を　建設課長

渡部厚子 議員

問 平間住宅に入居する人に生ごみ処理についてどう指導しているのか。

答 中原建設課長
コンポストで。それが不便なら電動の生ごみ処理機等を設置することも可能。

問 コンポストは誰も置いていない。庭が狭すぎる。電動生ごみ処理機は問題があって集合住宅では使わせていない。外にコンセントもない。

答 中原建設課長
生ごみの処理に困っている人があれば相談に乗っていきたい。

問 車のない人のために2ヶ月に一回ごみの運搬支援をしているが、回数を増やして欲しいとの要望は出ていないか。
ごみステーションより下の人から不便という声は出ていないか。

答 傍示企画環境課長
そういう苦情は出ていない。しかし、下流の町民はゴミをまとめて持ってくる傾向はある。

問 上勝のごみ処理法は非常にいいとは思うが、どうしてもシステムからはみ出て不便を感じる人が出てくる。その人達のための対処も考えるべきでは。

住居近くには置けないコンポスト

答 花本町長
住宅の生ごみ対策には苦慮しているが共同管理よりは個人で処理するのが良いと思う。
運搬支援については、要望があれば対処してゆきたい。
下流域の人も上流域の人もごみステーションは一ヶ所でお願いしたい。

いろどり山の入山は

問 いろどり山は温泉へ来る客がついでに見に入れる場所となるのか。

答 吉積産業課長
温泉客の散策コース、ツアーを組んでの体験なども想定している。

問 ツアーでない一般の客の散策は保障されているか。

答 吉積産業課長
植栽されて入れない圃場が一部出てくるだろうが、その圃場は見て回れる。ワサビ摘みの体験ができる圃場も想定している。

地域創生総合戦略は

問 地域創生総合戦略5年計画の3年が過ぎた。目標の達成度は。

答 傍示企画環境課長
取り組み内容と成果目標については6月に報告する。
この事業は人口減少を止めることが目標である。従って一つ一つの取り組み項目の内容に目標設定はない。

問 お金をどっさりかけて立派な計画書を作って、その割に目標は立てていない。成り行き任せで余り意味が認められない。

答 花本町長
そのようなことはない。この総合計画をもとに幅広い行政の中で、3本の矢を立てて集中的にやっている。
この事業には大きな交付金が出ており、この計画が無駄になることは決してない。

旧くみあいマーケットは閉店

問 落合の旧くみあいマーケットは一階は食料店や農具を販売、二階はジーンズのエプロンなどを作る工房となったが、殆ど開いていない。

答 吉積産業課長
一階は地職住の事務所で週2日くらい、二階はジョクリックで週に一回くらいの開店という状態だ。

問 二階は物を取りに来るくらいで仕事をしている様子はない。
落合は一等地だ。あの建物の空間も非常に良い、それが物置になっている。
契約を解消して別のことに利用してほしい。

答 吉積産業課長
今後開店時間を多くするよう要望していきたいと考えている。

※この他、地域おこし協力隊について質問しました。

いろどり橋の完成は　鹿島

5月下旬かそれ以降　企画環境課長

鹿島國男 議員

問 いろどり橋の進捗は。

答 傍示企画環境課長
全体の完成は5月下旬かそれ以降と考えている。県道と橋台の間の落石防止柵の追加、湖南線からの取り合い工事、いろどり橋から温泉までの歩道工事が終わり全体の安全確認後の完成となる。

問 キャンプ場からいろどり橋を渡って温泉までの夜間照明は。

答 傍示企画環境課長
夜間照明は、LEDで左岸6基、いろどり橋4基、右岸6基を設置。

いろどり橋の渡り初めは

問 いろどり橋の渡り初めは。

答 傍示企画環境課長
周辺の関係団体と協議したい。

新ごみステーションは

問 新ごみステーションの進捗は。

答 傍示企画環境課長
3月16日の入札前に5社全部から入札辞退届が提出された。再入札することになる。今後の対応は現在検討している。

工事中の「いろどり橋」

問 新ごみステーションの予定地に木材が集まってきているが。

答 傍示企画環境課長
工事に使用する木材の一部の材木をもくさんが集めている。

問 新ごみステーションの運営形態はどうなるのか。

答 傍示企画環境課長
新しいごみステーション部分は町が直営。宿泊体験等交流スペース、シェアオフィス、コインランドリー、住民の交流広場、そこに伴う事業は民間業社に業務委託を予定。

問 ごみステーション、宿泊棟、コインランドリー等に使用する水は十分に確保されているか。

答 傍示企画環境課長
設計で6000ℓのタンクを設置するので十分と思う。

インフルエンザについて

問 今年のインフルエンザの予防接種は、予約しなくてもできると言っていたのに、予約者しかできなかったのはなぜか。

答 峯下住民課長
診療所が620人分確保していた。接種者が少しずつ減少傾向だったので、予約を取らなくても大丈夫と判断した。しかしワクチン不足と報道され、接種者が多くなり、混乱をさけるため、予約者のみに切りかえた。11月下旬ごろ、ワクチンの追加が可能だったが、入荷が1月中旬以降になるので、抗体ができるのに2週間程度必要なため、余り予防効果が期待できないと判断し追加注文しなかった。

風力発電について

問 環境アセスメントの閲覧が2月15日から3月16日まで行われたが、今後の工事は。

答 花本町長
今年の6月から工事にかかる予定。梅の木線、流川線の整備、残土処理場の木の伐採など、平成33年の運転開始予定だったが、平成34年の3月にずれる。

問 工事にともなって東簡易水道の水源が枯れることはないのか。

答 花本町長
専門家3人の意見では工事の掘削によって水量自体が全く違うほうへ流れる。心配はない。又流量計を設置して水量の変化を観測している。

定期的にアンケートを取っているか

岡本

取っているが、変わったことはない

教育長

岡本　明 議員

学校給食について

問 また異物混入の話があったが、確認は取れているのか。

答 立川教育長
1月11日に1センチ程の虫が混入していたと、その日の夕方報告を受けた。混入していた虫は「ウオノエ」という甲殻類で、エビやカニの仲間であり、人には全く無害であるとされている。

問 今回は、保護者や子ども達に十分説明をし、適切な対応が出来たのか。

答 立川教育長
報告は受けていないが、子どもに対する説明はしているようだ。

問 給食は、栄養のバランスも大事だが、味が一番ではないのか。

答 立川教育長
栄養バランスは重要な視点であり、食育基本法にも謳われている。これに基づき上勝町では、栄養バランスと、おいしくいただくための味付けを心掛けている。味付けについては、家庭の習慣などにより個人差があると考える。県教育委員会からは、塩分量を減らすよう指導を受けている。

問 以前は、ふりかけやデザートなど、手作り感のある献立が多かったように聞いている。近年はメニューの中に「赤飯とコーンスープ」「肉じゃがときんぴらごぼう」など、組み合わせ・いろどりのバランスが悪いように思うが。

答 立川教育長
献立については、他県、他町村を参考にしている。いろどり・栄養素についても計画はしている。以前は偏っていたこともあったが、毎日給食を食べに行っているので、今後も随時指導していきたい。

町道について

問 新年度の町道整備の予定は。

答 中原建設課長
スーパー林道130m、杉地線150m、雄中面線260m、葛又線190m、柳谷線150mの予定だ。

問 落合赤橋から上への舗装は7～8年前から要望が出ているはずだがどうなっているのか。

答 中原建設課長
要望はいただいている。家も立ち並んでいることから、部分的な対応や状況を見て考えていきたい。

問 道路清掃員を2名から4名に増やした理由は。

答 中原建設課長
作業効率、現場の安全管理、細やかな対応が主な理由である。

問 町内全体をカバーしていくのか、それとも一部だけ美しく清掃する考えなのか。

答 中原建設課長
当面は、現状の作業を中心にしていく予定である。町内全体のカバーは今後検討していきたい。

林道整備について

問 林道舗装の要望も多くあると思うが、対応は出来ているか。

答 中原建設課長
現在は開設しながらコンクリート舗装をしている。過去に開設した林道については、舗装が出来ていない所がほとんどである。開設した中で必要な場所については、毎年行っている。要望が来ても予算に限りがあり、応えられない場合もある。

新ごみステーションについて

問 新しくごみステーションが建つというのに、前の斜面は雑木が生え、放置された状態になっている。今後の計画は。

答 傍示企画環境課長
過去に何度か植樹を試みたが、土地がやせて根付かず、現在に至っている。アート周辺の草刈りは、予算を計上している。範囲も広く、すぐに対応することは考えていない。

県道16号線傍示の電柱について

問 「仮柱」となったまま数か月放置されている。移動することもなく、いつまで放置するのか。

答 中原建設課長
電柱はNTT所有であり、場所さえ決まれば移設作業は出来ると聞いている。4月末から5月末までに道路管理者とNTTと立ち合い、移設場所を決めていきたい。

福岡県大木町の取り組み研修

平成30年2月13日

上勝で活用出来ていない廃棄物がし尿だ。全国最多の分別を行い、生ゴミは堆肥化しているが、し尿は広域処理に頼っている。

上勝町に続くゼロ・ウェイスト（もったいない）宣言の福岡県大木町で廃棄物処理の現状を視察した。

一足早くゼロ・ウェイストの目標年を迎えた大木町の取組みを要約すると、一般廃棄物は本町と同様に分別で資源化している。相違点は、生ごみも収集して浄化槽汚泥と一緒に高温処理を施し、し尿等と一緒にバイオガスプラントに投入して、電気と熱を取り出した後、有機液肥として農地還元していること。

この液肥で生産された有機野菜等を直売所で販売する一方、直営レストランでも提供しており、多くの客が長蛇の列を作っていたのには正直驚いた。

我々も昼食を食べてみたが、やはり有機農法で育てた野菜は安くて美味しいと思った。

本町もバイオプラントの試験に取り組んだが、残念ながら成績が悪く短期間で打ち切っている。本町なら農地に限らず山林にも肥料として還元できると思われ、更なる検討が求められている。

その後、福岡市の紙オムツの再生工場に足を運び、燃やさず原料に再生させる技術も見せて頂いた。常に新技術が開発され続けており、社会全体がゼロ・ウェイストに向かって進んでいると感じた。（星場）

福岡県東峰村見聞記

平成30年2月14日

東峰村の紹介

東峰村は、福岡県の中央部で大分県境に近い中山間地域。平成17年に二つの村が合併して生まれた。人口は2,175人で上勝町より500人ほど多い。

上勝町と同じように日本で最も美しい村連合に加盟、棚田米や伝統工芸品の焼き物で全国的に交流発展していた。

突然の大災害

平成29年7月5日突然集中豪雨が襲った。午後一時頃から降り始め、7日までに900㎜に達し、あっと言う間に濁流は溢れ道路を寸断、大量の流木と共に民家や鉄道・橋梁を呑みこんだ。

災害の状況

ほとんどの沢合の山復が崩壊・上流部ほど被害が大きい。

災害現場

各村落間は夕刻近く連絡が断たれ、停電、携帯電話も不通、それぞれ村落のみで助けあって2日間を凌いだ。

災害等被害額50億392万円。

復旧・復興

幸い役場庁舎は水害から免れたので、復興対策本部として機能し自衛隊・警察・ボランティア・村長・議会も一体となって国交省による復興計画に基づき現在、安全・安心の村づくりが始まろうとしている。

8月内閣府より激じん災害指定、国交省直括にて平成29年以降工事着工。

今後私達の取るべきこと

昼間の災害発生と言う事で幸い人的被害が最小限にとどまった。自主防災組織の訓練が災害発生10日前を含む過去3回にわたり延2,963人が参加するほどの自主防災組織の育成があり住民がおちついて対応した。

私達も防災組織の充実と訓練を大いに参考にすべきである。そして大災害時に於いては連絡網を断れる事、数日間を凌ぐ工夫として非常食は各戸常に備えて置くことが大事。（松下）

九重夢大吊橋視察

平成30年2月15日

大分県の南西部にある九重"夢"大吊橋を渡って来た。2006年に完成した長さ390m高さ173mで歩道専用の吊橋であった。生活道だけでなく九重町の豊かな自然を楽しむために造られている。遠くに九州の屋根と言われる1700m級の山々が連なる「九重連山」など360度の大パノラマが広がる美しい景色であった。

また吊橋が空に浮かんでいるようで、別名「天空の散歩道」と呼ばれている。この日はあいにく小雨模様であったが大勢の観光客が来ていた。（鹿島）

九重夢大吊橋

まちのようす

樫原棚田の桜（生実）

田野々敬老会（旭）

入学式（小学校）

彩公園の桜（正木）

集落再生の伐開作業（傍示）

入学式（中学校）

編集後記

寒かった冬が終わり、桜の花も美しく咲き始め一年の中でよい季節となりました。しかし、別れの時でもあります。

これから、色んな事があると思います。夢を持ち努力をした者が、夢を手にする事が出来ると信じています。

自分を信じ、どの様な環境・場所であっても、全力で頑張ってほしいものです。

（岡本）

発行／上勝町議会　〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町福原　☎0885(46)0111　IP 050-3438-8071　編集／議会広報調査特別委員会　印刷／鳥海印刷㈲
この広報紙は再生紙を使用しています。